

「節電への御協力をよろしくお願いいたします」

報道各社御中 ← 環境省広報室

(情報提供)

島根県の国指定宍道湖鳥獣保護区周辺における高病原性
鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプの確認について

以下に現時点における情報を提供します。

本日、国指定宍道湖鳥獣保護区周辺（島根県出雲市平田町）において回収されたキンクロハジロ1羽について、詳細検査の結果が判明し、高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプが確認されたとの報告が鳥取大学からありました。経緯等は以下の通りです。

○キンクロハジロ1羽(2月9日回収。簡易検査陰性。国立環境研究所における遺伝子検査は陽性。)について、本日、鳥取大学における確定検査においてH5N1亜型・強毒タイプと判明。

今回の回収地周辺10km圏内の野鳥の監視レベルを3に引き上げ、関係府省、島根県等と連携して、野鳥の監視を引き続き推進してまいります。

また、発生地周辺における野鳥の感染状況を把握するための現地調査（糞便調査）については、これまで野鳥における発生時の現地調査で実施済みのため、改めて行う予定はありません。

【取材について】

○現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

平成23年3月25日（金）

自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

室 長：宮澤 俊輔（内線6470）

室長補佐：山本 麻衣（内線6471）

専 門 官：福嶋 貢史（内線6474）

担 当：千葉 康人（内線6473）